

天応特産品紹介 No.1

天応の特産品を紹介していきます。第1回は、葉ぼたんです。地元の製品について、ご覧下さい！

葉ぼたん



カラフルな葉ぼたんが、たくさん咲いていました！

◇葉ぼたん栽培について、東久保の平原さんにお聞きしました！

天応における葉ぼたん栽培は、約20年前に始まりました。天応では、古くから菊などの切り花の栽培が盛んでした。気候が温暖で、段々畑が多いことから、天応は葉ぼたんを始め花の栽培に適しています。

葉ぼたんは、赤・白・緑と色彩豊かな花で、お正月用の切り花として有名です。

7月の下旬に種をまき、12月の中旬には綺麗に色づき旬を迎えます。主に広島や呉の市場に出荷しており、最近では、花が小さく背が高いものが好まれています。

◇平原さんは、葉ぼたんを作り始めて4年目！

約20年前からビニールハウスで切り花を栽培していましたが、本格的な農業を始めたのは定年後。呉市の農業技術習得セミナーに参加してから、葉ぼたん作りを始めました。

暑い時期に定植し、寒い時期に出荷するので、お盆と正月の作業が大変です。また、折角育てたものが枯れたり、キャベツの仲間なので虫がつきやすいなど苦労も多いですが、生長して色付いてきた時や、出荷する時の喜びは、格別なものがあります。

現在、8戸の農家が葉ぼたんを栽培していますが、花の栽培について情報を共有しながら取り組んでいます！

時期に限りはありますが、JA天応の朝市でも販売しています。ぜひ、地元の葉ぼたんをご覧下さい！

葉ぼたんは縁起物です。天応の方にも地元のお花を正月に飾ってもらえたらうれしいです！

【作業風景】夏と冬の作業が大変です。綺麗に育ってくれ~のう！



葉ぼたんを作っている平原夫妻



葉ぼたんは、アブラナ科の一年草で、観賞用の園芸作物として栽培されています。

12月に出荷される葉ぼたんは、鮮やかな色合いから、正月用の飾りや、公園の花壇に用いられるなど、冬を彩る花として有名です。

呉市の葉ぼたんは、市場からも高い評価を得ており、天応もその産地の一つです。